

## ・水の再利用

雨水や下水をきれいにして、水洗トイレや散水に使うことを「雑用水利用」といいます。

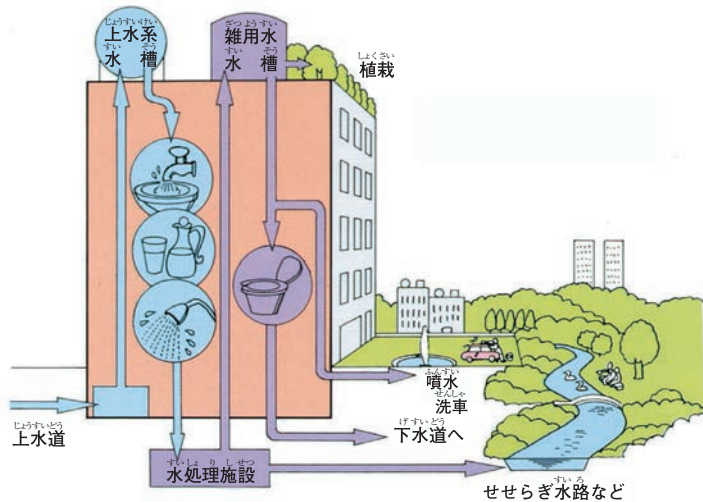
千葉県でも、ビルやスーパーマーケットなどの大きな施設については、雑用水を使うようお願いしています。

家庭でも、降った雨を貯めて、散水、洗車や災害などの非常時の生活用水に利用することができます。

水の再利用は、水道水の節約となるほか、汚水の量や雨が降った時に川へ流れ込む汚れた水の量が減るなど、水質改善の効果も期待できます。



幕張メッセモールの雑用水利用  
(下水処理場の水を利用しています)



雑用水利用のシステムの例



家庭用雨水タンクの例

## • 水の大切さ

昔<sup>むかし</sup>の人たちは、天地<sup>てんち</sup>には水<sup>みづ</sup>をつかさどる神様<sup>かみさま</sup>がいると信<sup>しん</sup>じていました。お正月<sup>しょうがつ</sup>には、家<sup>いえ</sup>の井戸<sup>いど</sup>におそなえをして、水<sup>みづ</sup>の神様<sup>かみさま</sup>に感謝<sup>かんしゃ</sup>しました。水<sup>みづ</sup>は人間<sup>にんげん</sup>にとって、とても大切<sup>たいせつ</sup>で、自然<sup>しぜん</sup>からのおくりものとして考え<sup>かんが</sup>られていました。今<sup>いま</sup>、わたしたちの生活<sup>せいふ</sup>は便利<sup>べんり</sup>になり、蛇口<sup>じゃぐち</sup>をひねるだけで水<sup>みづ</sup>が出るし、好き<sup>す</sup>なときに好き<sup>す</sup>なだけ使<sup>つか</sup>えます。

しかし、水<sup>みづ</sup>はかぎりある資源<sup>しげん</sup>です。ダムをつくる人<sup>ひと</sup>、水<sup>みづ</sup>を飲<sup>の</sup>めるようにきれいにして送<sup>おく</sup>る人<sup>ひと</sup>、送<sup>おく</sup>っている施設<sup>しせつ</sup>を見回<sup>みまわ</sup>る人<sup>ひと</sup>など、たくさんの人<sup>ひと</sup>の努力<sup>どりょく</sup>によって水<sup>みづ</sup>が蛇口<sup>じゃぐち</sup>まで送<sup>おく</sup>られてきます。

水<sup>みづ</sup>にかぎらず、わたしたちの身<sup>み</sup>のまわりのものは、どんなものでも自然<sup>しぜん</sup>のめぐみを受けて生ま<sup>う</sup>まれてきています。

身<sup>み</sup>のまわりのものを大切<sup>たいせつ</sup>に使うことは、資源<sup>しげん</sup>を大切<sup>たいせつ</sup>にして、空気<sup>くうき</sup>や水<sup>みづ</sup>のきれいな、すみやすい社会<sup>しゃかい</sup>をつくる第一<sup>だいいっほ</sup>歩<sup>ほ</sup>です。水<sup>みづ</sup>を大切<sup>たいせつ</sup>にする心<sup>こころ</sup>がけは、わたしたちの生命<sup>せいめい</sup>を大切<sup>たいせつ</sup>にすることと同じことになるのです。



第67回 水道週間ポスターコンクール

幼児の部

さいゆうしゅうしょう 最優秀賞  
あそ 阿曾  
くうた 空大さん(学校法人 鶴岡学園 二三ヶ丘幼稚園)

